



渡邉 陽一郎 社長

株式会社 朝日ラバー(5162)



企業情報

市場	JASDAQ
業種	ゴム製品(製造業)
代表取締役社長	渡邉 陽一郎
所在地	埼玉県さいたま市大宮区土手町 2-7-2
決算月	3月
HP	http://www.asahi-rubber.co.jp/

株式情報

	株価	発行済株式数(自己株式を控除)		時価総額	ROE(実)	売買単位
	705 円		4,541,644 株	3,201 百万円	8.0%	100 株
	DPS(予)	配当利回り (予)	EPS(予)	PER(予)	BPS(実)	PBR(実)
ſ	30.00 円	4.25%	49.98 円	14.1 倍	987.28 円	0.71 倍

^{*}株価 11/27 終値。発行済株式数は直近四半期末の発行済株式数から自己株式を控除。ROE、BPS は前期実績。

業績推移

決算期	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半期 純利益	EPS	配当
2016年3月(実)	5,976	237	235	131	29.16	13.00
2017年3月(実)	6,511	475	490	341	76.09	16.00
2018年3月(実)	7,534	561	589	459	101.98	20.00
2019年3月(実)	7,706	483	508	352	77.97	20.00
2020年3月(予)	7,485	351	356	227	49.98	30.00

^{*} 予想は会社予想。

^{*}DPS(予)は、記念配当 10 円を含む。

^{*2020}年3月期(予想)の配当金の内訳は、普通配当20円、記念配当10円。

^{*}単位:百万円、円



目次

今回のポイント

- 1. 会社概要
- 2. 中期経営計画
- 3. 2020 年 3 月期第 2 四半期
- 4. 2020 年 3 月期業績予想
- 5. 今後の注目点
- <参考:コーポレートガバナンスについて>

今回のポイント

- 20/3 期第 2 四半期は前年同期比 6.2%の減収、同 55.0%の経常減益。売上高は、新製品の寄与により医療・衛生用ゴム事業で増加したものの、自動車スイッチの防水カバー等や認証・認識ビジネスに対応する RFID タグ用ゴム製品の受注などが減少した工業用ゴム事業で減少した。セグメント利益も、売上高が増加した医療・衛生用ゴム事業で増加したものの、売上高の減少を受け工業用ゴム事業で減少した。
- 同社は、11 月 13 日に 20/3 期会社計画の下方修正を行った。新しい会社計画は、前期比 2.9%の減収、同 30.0%の経常減益。自動車スイッチ用防水力バーや RFID タグ用ゴム製品の受注回復が当初予測よりも遅れ る見込みとなったものである。売上高は、工業用ゴム事業、医療・衛生用ゴム事業ともに減少する計画。利益 は、売上高の減少に加え、設備投資、人員補強等によるコスト増加などを考慮している。一方、1 株当たり配 当は、19/3 期から 10 円増配の 30 円の予想(上期末 10 円、期末 20 円)を据え置き。期末配当に記念配当 10 円が含まれている。
- 現在同社は、RFID タグ用ゴム製品の販売拡大に向け、顧客と連携し海外市場の競合対策を検討している。 主力製品である ASA COLOR LED や採血用・薬液混注用ゴム栓などの受注が回復傾向となる中、上期の苦 戦の原因となった RFID タグ用ゴム製品の受注が魅力的な新製品の投入によりいつ頃から回復感を強めてく るのか注目される。

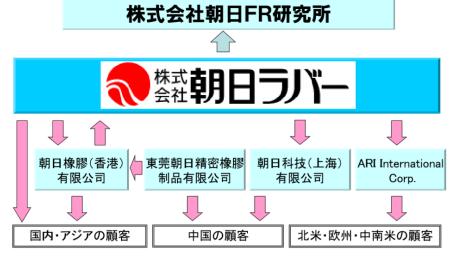
1. 会社概要

小型電球や LED に被せる事で様々な発色を可能にする被覆用ゴム製品を主力とする。自動車の内装用照明を中心に、携帯用通信機器、電子・電気機器、産業機器、スポーツ用等、幅広い分野で利用されている。シリコーン(ゴム状の合成樹脂)材料の配合技術と調色技術に強みを有し(色と光のコントロール技術)、シリコーンゴムに蛍光体を配合した LED 用ゴムキャップは、LED の光を波長変換して色調や輝度を調節できるため、10,000 色以上の光を出す事や LED の課題である光のばらつきを均一化する事が可能。また、医療・衛生用ゴム製品や硬質ゴムと軟質ゴムの複合製品等も配合技術を活かしてそれぞれの用途にあったゴム質を実現している。

グループは、同社の他、ゴム・プラスチック等の研究開発を行う(株)朝日 FR 研究所、米国の販売会社 ARI INTERNATIONAL CORP.、及び工業用ゴム製品の販売を手掛ける朝日橡膠(香港)有限公司、10年7月に設立した工業用ゴム製品の製造・販売を手掛ける東莞朝日精密橡膠制品有限公司、及び12年1月に設立した工業用ゴム製品の開発・設計・販売を手掛ける朝日科技(上海)有限公司の連結子会社5社からなる。

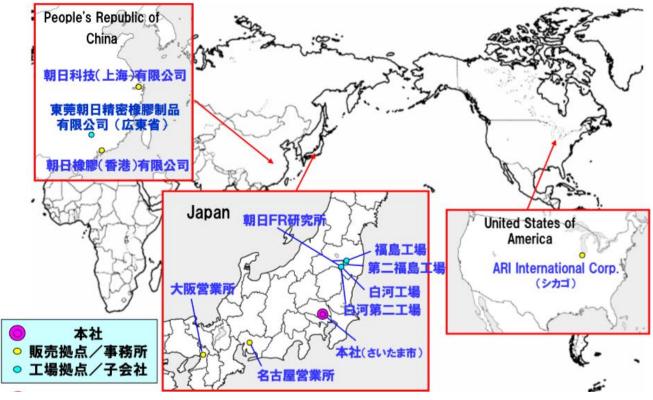


事業系統図



(同社決算説明会資料より)

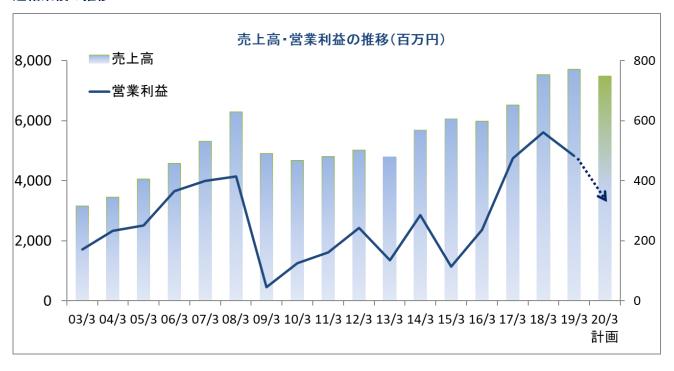
海外拠点



(同社決算説明会資料より)



連結業績の推移



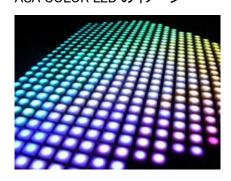
【事業内容と主要製品】

事業は、自動車のスピードメーターや内装照明の光源向けの「ASA COLOR LED」や各種センサ向けのレンズ製品「ASA COLOR LENS」、或いは弱電製品に使われる応用製品、更にはスポーツ用ゴム製品(反発弾性、高摩擦抵抗等を追及した高品質の卓球ラケット用ラバー)等の工業用ゴム事業、点滴輸液バッグ用ゴム栓や真空採血管用ゴム栓、プレフィルドシリンジ(薬液充填済み注射器)向けガスケット等、使い捨てのディスポーザブル用ゴム製品の医療・衛生用ゴム事業に分かれ、20/3 期第 2 四半期累計期間の売上構成比は、それぞれ 83.8%、16.2%。 今後は、RFID タグ用ゴム製品、ASA COLOR LENS、医療回路製品用ゴム部品などの販売拡大が期待される。

-ASA COLOR LED

ASA COLOR LED とは、LEDの光と色のばらつきを解消する商品。 青色 LED に蛍光体を配合したシリコーン製キャップを被せることで、自動車内装照明用に 10,000 色以上の均質な光を提供。顧客に要求される均一な色を実現している。

ASA COLOR LED のイメージ



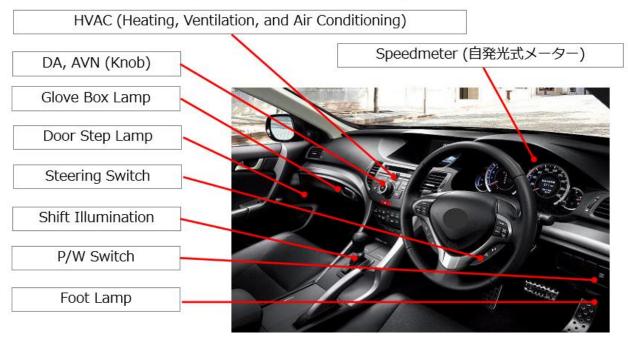
(同社決算説明会資料より)



ASA COLOR LED の採用例

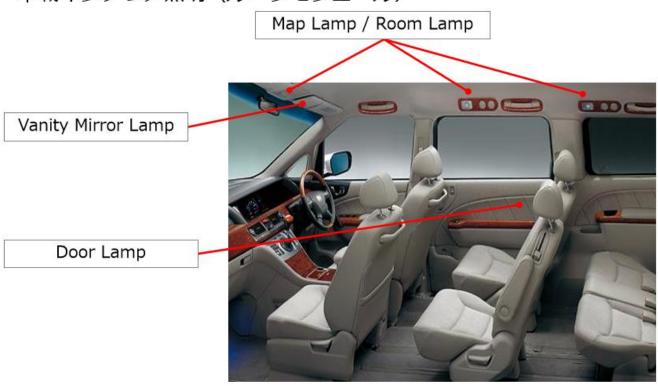
自動車内装照明に応用して、安心、安全、快適性を高める。

車載インテリア照明(インスツルメントパネル)



(同社会社説明会資料より)

車載インテリア照明(ルーフモジュール)



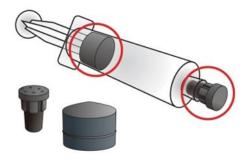
(同社会社説明会資料より)

・医療用ゴム製品



点滴輸液バッグ用ゴム栓、真空採血管ゴム栓、薬液混注ゴム栓、プレフィルドシリンジ(薬液充填済み注射器)向けガスケットなど、医療現場で用いられるディスポーザブル商品に使用さる。安全性の高い材料を開発し、独自のコーティング技術で"漏れない"と"滑る"を両立し、注射速度の微妙な調節が可能。素材変性技術による安全性の高い材料と表面改質技術による摺動性の向上により、医療ミス防止などの安全性向上に貢献している。

プレフィルドシリンンジ向けガスケットのイメージ



(同社決算説明会資料より)

·RFIDタグ用ゴム製品

RFIDタグ用ゴム製品は、溶剤を使わずに接着させる"分子接着・接合技術"を応用し、IC チップやアンテナ部をゴム素材で覆い、折り曲げに強く、耐水性、耐熱性に優れた、柔らかい小型のRFIDを提供。取り付ける対象がどのようなものかを記憶し、認識させる機能で、今後成長が期待される認証・認識ビジネスに対応。 ゴムという弾性体の特徴を生かして、RFID が使用できなかった用途への利用が可能に。さらに応用し市場拡大を進める。 RFID タグ用ゴム製品イメージ



(同社決算説明会資料より)

【コア技術と事業領域】

オープンイノベーションで事業領域深耕につながる研究を加速するとともに、製品化に向けた実証研究を強化す



る。



色と光のコントロール技術

シリコーンゴムに着色剤や蛍光体を配合し、様々な色と光を出すことのできる色調管理技術を有し、ばらつきを調整 し、顧客が望む細かい色調を実現。また、透明なシリコーン樹脂を材料とし、耐熱性、対紫外線性に優れ、集光・拡 散といったレンズ機能を実現。ASA COLOR LEDなどにこの技術が生かされている。今後もこれら技術を活用し、自 動車内装、照明分野とコア技術を応用したスイッチ分野の拡大を図る方針。

・表面改質及びマイクロ加工技術

接着剤を使わずに、ゴムとゴムや金属、樹脂を接着させる分子接着・接合技術を有する。接着させる表面を改質処 理し、化学反応で結合。これにより、有害な溶剤の廃棄処理が不要となり、耐熱性、耐水性もクリア。耐水性、耐候 性に優れており、RFIDタグ用ゴム製品やマイクロ流体デバイスでこの技術が生かされている。また、数十ミクロンか ら数ミクロン単位の表面加工を行うマイクロ加工技術を確立。医療用ゴム製品である薬液混注ゴム栓の薬液注入 口の形成と薬液漏れの防止や、充電して使用できる二次電池の内圧管理にもこのマイクロ加工技術が生かされて いる。今後もこれら技術を活用し、高性能製品や新たな分野を開拓する方針。

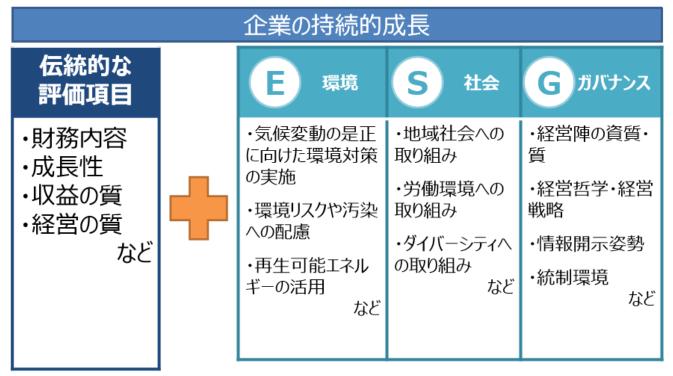
▪素材変性技術

ゴムをはじめとするソフトマテリアルは、素材に添加物を配合することで求める機能を持たせることができる。更に、 ナノ・分子レベルで成形することによりその機能をパワーアップすることも可能。卓球ラケット用ラバーなどにこの技 術が生かされている。今後もこれら技術を活用し、医療分野を支える製品を提供する方針。

【ESGへの取り組み】

同社は、ESG へも積極的に取り組んでいる。





(同社会社説明会資料より)

項目	方針と実績
	環境に対する取り組みが、持続可能性のある社会の実現に寄与すること、また、事業の競争力の向上と持続的な成長を支える視点の一つととらえ、社会の要請の応えられるよう取り組みを行う。
E(エコロジー)環境	●工場電力の削減 白河工場と福島工場に太陽光発電パネルを設置。また、白河工場と福島工場の照明を LED 蛍光灯に置き換え、省電力化を実現。 ●廃棄物のリサイクル推進
	ゴム屑やポリシート、フィルムなどのプラスチック類に加え、硬質を 含む混合プラスチック の焼却灰をセメント原料として使用する活動を推進。
	地域社会の一員としての会社であることから、地域への貢献活動も継続して行い、地域の皆様とのコミュニケーションを深めることで、従業員の責任感とモチベー ションの向上に役立てる。
S(ソーシャル)社会	●最寄駅の清掃 福島工場、第二福島工場の最寄駅である JR 東北本線泉崎駅で、毎週火曜日の就業時間前に 4~5 名の当番制で清掃活動を実施。 活動を開始して 2019 年で 24 年目となる。 ●卓球大会の開催
	福島県の県南地区の中学生を対象にした朝日ラバー杯の卓球大会と、高校生や社会人も含めた卓球大会を主催。 ●ケアハウスの清掃 新入社員研修の一環として、地域のケアハウスの清掃を実施。
	●地域イベントへの参加 福島県白河市のイベント「まるごと白河」の企業ブースに出展し、地元にある企業の活動 の認知を広め、従業員が直接地域の皆様とふれあう機会を創出。



G(ガバナンス)統制

2015年6月に、監査等委員会設置会社に移行。社外取締役を招聘し、社内にない多様な意見を取締役会に反映し、内部統制のしくみとマネジメントの監査・監督のしくみの両輪で、適切なリスクマネジメントを推進。トップダウンによる経営理念・経営方針の伝達と、ボトムアップによる現場の知恵の具現化により事業を成長させる。

2. 中期経営計画

同社は、中期経営計画を策定するにあたり、中期三カ年を二回分の6年後、2020年を見据え、ビジョン(目指す姿)を「AR-2020 VISION」として定めている。後半の2017年4月から2020年3月までの二期目の三ヵ年計画を「V-2計画」とし、存在する市場に対して"魅力ある提案"をするために、素材力とサービスを磨き鍛え、多くの安心した製品を安定的に届けるためコア技術を磨いて育てていく方針。

V-2 計画(第12次三ヵ年中期経営計画)

同社は、2018年3月期を初年度とする三ヵ年の「V-2計画(第12次三カ年中期経営計画)」(2017年4月~2020年3月)を策定した。中期経営方針として「AR-2020VISIONに通ずる質的成長を求めて広く社会に貢献する」を掲げ、中期経営戦略として、①ゴム技術・コア技術・製品力を成長させる、②経営基盤を磨き成長を加速すると定め、最終年度である20/3期に数値目標である、連結売上高70~80億円、連結営業利益率8%以上を目指す。先行きの不確定要因を考慮し、売上高目標は範囲を持って設定、質的成長を目指すため利益指標は率の成長を着実に目指す方針。また、最終年度目標は環境の変化などを考慮し、随時見直しをかける方針。

(1)事業分野の再編

従来、自動車、医療、ライフサイエンス、その他の4事業分野であったものを、車載・照明、医療・ライフサイエンス、その他の3事業分野へ変更する。これは、①照明全般に視点を広げて市場を見出し、新たな付加価値で市場創造を図る、②医療事業とライフサイエンス事業を融合することで、医療機器分野・診断医療分野などに対する経験を生かして、事業に対する総合力を強化する、③ゴム技術を生かした機構部品を創造することを目指すものである。

(2)事業分野の戦略

車載·照明(主要製品: ASA COLOR LED、透明部材、反射材料)

17/3 期の連結売上高実績 27.4 億円に対し、20/3 期の売上高は 30~35 億円を計画。当社のコア技術のひとつである色と光のコントロール技術を駆使した ASA COLOR LED など、他社に真似のできない独自製品で市場と顧客の要望に応えることに加え、培った技術を照明全般に視点を広げて市場を見出していく。

医療、ライフサイエンス(主要製品:採血用・薬液混注用ゴム栓、プレフィルドシリンジ用ガスケット、マイクロ流体デバイス)

17/3期の連結売上高実績12億円に対し、20/3期の売上高は13~15億円を計画。医療現場での衛生管理や医療事故の防止などに役立つディスポーザブルのゴム製品と診断医療や解析分野に貢献するマイクロ流体デバイスの開発を進める。

その他(主要製品:RFID タグ用ゴム製品、自動車向けスイッチ用ラバー、卓球ラケット用ラバー)

17/3期の連結売上高実績25.7億円に対し、20/3期の売上高は27~30億円を計画。ゴムの可能性を追求し、独自のコア技術と複合化させたこれまでにない付加価値を持つ機構製品を提供する。

その他、経営基盤を磨き成長を加速するために、拠点地域をつなぐ製品企画と連結販売を行う体制を構築する他、健康経営を軸に経営基盤を整備する。

なお、中期経営計画(V-2計画)最終年度である20/3期は、売上高目標は達成の見込みであるが、営業利益率は未達となる見通し。

3. 2020 年 3 月期第 2 四半期決算



(1)連結業績

	19/3 期 第 2 四半期	構成比	20/3 期 第 2 四半期	構成比	前年同期比	期初予想	予想比
売上高	3,946	100.0%	3,702	100.0%	-6.2%	3,707	-0.1%
売上総利益	1,037	26.3%	852	23.0%	-17.8%	_	_
販管費	698	17.7%	700	18.9%	+0.4%	_	_
営業利益	338	8.6%	152	4.1%	-55.1%	127	+19.8%
経常利益	352	8.9%	158	4.3%	-55.0%	128	+23.9%
親会社株主に帰属する四半期純利益	237	6.0%	84	2.3%	-64.5%	88	-4.3%

^{*}単位:百万円

前年同期比 6.2%の減収、同 55.0%の経常減益

売上高は、前年同期比 6.2%減の 37億2百万円。売上面では、工業用ゴム事業の売上高が同 7.5%減少。主力製品の自動車内装照明用の ASA COLOR LED 及び自動車内装スイッチ用ラバーの受注が増加は増加したものの、自動車用精密ゴム製品でスイッチの防水カバー等の受注が減少した。また、認証・認識ビジネスに 対応する RFID タグ用ゴム製品の受注は顧客の販売状況及び新旧製品の入替に伴う現行品の在庫調整等の影響が続いて減少した。一方、医療・衛生用ゴム事業の売上高は同 1.5%の増加となった。旧機種から新機種に移行した採血用・薬液混注用ゴム栓の受注が好調だったこと、また、新規案件のゴム栓の量産がスタートしたことなどにより、医療用回路製品の売上高が増加した。

営業利益は、前年同期比 55.1%減の 1 億 52 百万円。売上高が減少した工業用ゴム事業のセグメント利益は同 47.6%の減益となった一方で、売上高が増加した医療・衛生用ゴム事業のセグメント利益は同 0.9%の増益となった。売上高営業利益率は、4.1%と前年同期比 4.5 ポイントの低下。収益性の高い RFID タグ用ゴム製品の売上高の減少等が影響し、売上総利益率は、23.0%と同 3.3ポイント低下した。販管費はほぼ横ばいとなったものの、売上高の減少により売上高対販管費率も同 1.2 ポイント上昇。また、為替差損の増加などがあったものの経常利益の減益率は営業利益の減益率とほぼ同じとなった。その他、特別損失で投資評価証券評価損 20 百万円を計上した影響などにより親会社株主に帰属する四半期純利益は、同 64.5%の減益となった。

四半期業績の推移



20/3 期第2四半期(7-9月)は、顧客企業の在庫調整や先行投資負担の増加の影響を受け、売上高、営業利益ともに前年同期を下回る結果となったものの、前四半期(4-6月)比で回復傾向となった。

※15/3Qと4Qは、取締役2名逝去による役員退職慰労引当金繰入額等の特殊要因が影響。

(2)セグメント別動向



セグメント別売上高・利益

	19/3 期 第 2 四半期	構成比	20/3 期 第 2 四半期	構成比	前年同期比
工業用ゴム事業	3,356	85.1%	3,104	83.8%	-7.5%
医療・衛生用ゴム事業	589	14.9%	598	16.2%	+1.5%
連結売上高	3,946	100.0%	3,702	100.0%	-6.2%
工業用ゴム事業	418	83.8%	219	72.8%	-47.6%
医療・衛生用ゴム事業	81	16.2%	81	27.2%	+0.9%
全社費用	-160	-	-148	-	-
連結営業利益	338	-	152	-	-55.1%

^{*}単位:百万円

セグメント別売上高(中期事業分野別)

	19/3 期 第 2 四半期	構成比	20/3 期 第 2 四半期	構成比	前年同期比
車載•照明	1,677	42.5%	1,694	45.8%	+1.0%
医療・ライフサイエンス	601	15.2%	608	16.4%	+1.2%
その他	1,667	42.2%	1,398	37.8%	-16.1%
連結売上高	3,946	100.0%	3,702	100.0%	-6.2%

^{*}単位:百万円

国内·海外別売上高

	19/3 期 第 2 四半期	構成比	20/3 期 第 2 四半期	構成比	前年同期比
国内	3,273	82.9%	2,989	80.7%	-8.7%
海外	673	17.1%	713	19.3%	+6.0%
アジア	589	14.9%	625	16.9%	+6.1%
北米	76	1.9%	80	2.2%	+6.2%
欧州	7	0.2%	7	0.2%	-4.6%
合計	3,946	100.0%	3,702	100.0%	-6.2%

^{*}単位:百万円

国内売上高は前年同期比8.7%減少、海外売上高はアジアの増加が寄与し同6.0%増加した。

主力製品の売上推移

	19/3 1Q	2Q	3Q	4Q	20/3 1Q	2Q	前年同期比 (20/3 第 2Q累計期間)
ASA COLOR LED	768	768	733	646	758	846	+4.4%
医療用ゴム製品	113	94	100	105	123	113	+13.8%
卓球ラケット用ラバー	264	309	329	276	279	306	+2.1%
RFID タグ用ゴム製品	184	218	325	171	139	142	-29.9%

^{*}単位:百万円

ASA COLOR LED は、前期末の顧客の在庫調整が完了し、今第1四半期から受注が回復傾向にある。医療用ゴム製品は、採血用・薬液混注用ゴム栓の新機種の受注と回路製品の新製品の量産がスタートした。卓球ラケット用ラバーも、顧客による市場の好調な販売が寄与し受注が好調に推移している。一方、RFID タグ用ゴム製品は、顧客の販売状況と新日製品の入れ替えに伴う現行品の在庫調整の影響などにより受注が減少した。

その他分野では RFID タグ用ゴム製品と自動車スイッチ用防水カバーの受注が減少した。



(3)個別及び子会社の動向

個別業績

	19/3 期 第 2 四半期	構成比	20/3 期 第 2 四半期	構成比	前年同期比
売上高	3,685	100.0%	3,443	100.0%	-6.8%
売上総利益	860	23.3%	713	20.8%	-17.1%
営業利益	258	7.0%	117	3.4%	-54.5%
経常利益	301	8.2%	156	4.5%	-48.1%
当期純利益	207	5.6%	86	2.5%	-58.4%

*単位:百万円

単体は、RFID タグ用ゴム製品や自動車スイッチ用防水カバーなどの受注が減少し、減収減益となった。

子会社の動向

	(株)朝日FR研究所		ARI International Corp.			
	ゴム・プラスチック等の研究開発		工業用ゴム製品の販売			
	1987 年 4	月設立	1999	年6月設立		
	中間期	前年同期比	中間期	前年同期比		
研究収入/売上高	67,800	-11.7%	76,870	+1.9%		
経常利益	1,901	+252.8%	-6,986	-		
四半期期純利益	1,332	+253.7%	-6,986	-	1 米ドル=109.98 円	
	朝日橡膠(香港)有限公司		東莞朝日精密	密橡膠制品有限公司	朝日科技(上海)	有限公司
(労人・イロ)	工業用ゴム製品の販売		工業用ゴム	、製品の製造・販売	工業用ゴム製品の開	発•設計•販売
(単位∶千円)	2005年11	2005 年 11 月設立		年 7 月設立	2012 年 1 月	設立
	中間期	前年同期比	中間期	前年同期比	中間期	前年同期比
研究収入/売上高	188,554	-18.7%	330,048	-9.2%	118,811	-7.5%
経常利益	14,783	-30.2%	9,013	-79.2%	2,637	-76.6%
当期純利益	13,564	-23.0%	6,752	-79.3%	2,505	-77.7%
円換算レート	1 香港ドル=	=14.03 円	1 人民元=16.23 円		1 人民元=16	6.23 円

^{*}単位:千円

(4) 財政状態及びキャッシュ・フロー 財政状態

	19年3月	19年9月		19年3月	19年9月
現預金	2,388	2,555	仕入債務	401	404
売上債権	1,793	1,686	短期有利子負債	1,089	1,106
たな卸資産	832	911	流動負債	3,126	3,099
流動資産	5,367	5,438	長期有利子負債	2,058	2,150
有形固定資産	3,946	4,011	固定負債	2,851	2,971
無形固定資産	101	100	純資産	4,471	4,514
投資その他	1,033	1,034	負債·純資産合計	10,449	10,584
固定資産·繰延資産	5,081	5,146	有利子負債合計	3,148	3,256

[※] 単位:百万円。有利子負債=借入(リース含まず)

19年9月末の総資産は19年3月末比1億35百万円増の105億84百万円。資産サイドでは、太陽光発電システム設置により建物及び構築物が増加したことが主な増加要因。負債・純資産サイドでは、電子記録債務が増加

車載関連製品の受注減少に伴い、子会社も減収減益傾向となった。



したことと、今第2四半期連結累計期間の利益計上に伴う利益剰余金の増加が主な増加要因。19年9月末の自己資本比率は、42.6%と前期末から0.2ポイント低下した。

上期の設備投資額は3億68百万円、減価償却費は2億70百万円。事業分野別内訳は、車載・照明分野1億29百万円、医療・ライフサイエンス分野60百万円、その他分野1億79百万円。ASA COLOR LED の生産効率化のための設備改造投資を実施した他、太陽光発電システムを第二福島工場に新設し、白河工場に増設した。

キャッシュ・フロー

	19/3 期 第 2 四半期	20/3 期 第 2 四半期	前年同期比
営業キャッシュ・フロー	110	538	427 +385.8%
投資キャッシュ・フロー	6	-435	-441 -
フリー・キャッシュ・フロー	117	103	-13 -11.5%
財務キャッシュ・フロー	-59	68	127 –
現金及び現金同等物の期末残高	1,209	997	-212 -17.6%

^{*}単位:百万円

CF の面から見ると、前年同期との比較で、売上債権の減少と仕入債務の増加などにより営業 CF のプラスが拡大した。一方、定期預金の預入による支出や有形固定資産の取得による支出の増加などにより投資CFがマイナスに転じたことからフリーCF のプラスが縮小した。また、短期借入金と長期借入金の増加などにより、財務 CF がプラスへ転じた。

(5) 通期の会社予想(下方修正後)に対する第2四半期累計期間の実績の進捗状況

	20/3 期 第 2 四半期	20/3 期 通期会社予想	進捗率
売上高	3,702	7,485	49.5%
売上総利益	852	1,779	47.9%
営業利益	152	351	43.4%
経常利益	158	356	44.5%
四半期(当期)純利益	84	227	37.1%

^{*}単位:百万円

20/3 期第2四半期連結累計期間の業績は、下方修正後の通期の会社計画に対して概ね50%弱の進捗率と下期の回復を織り込んだ内容となっている。会社計画の達成に向け、下期の回復が期待される。

4. 2020 年 3 月期業績予想

(1)連結業績

	19/3 期	構成比	20/3 期	構成比	前期比	期初予想	予想比
売上高	7,706	100.0%	7,485	100.0%	-2.9%	7,810	-4.2%
売上総利益	1,907	24.8%	1,779	23.8%	-6.8%	1,959	-9.2%
販管費	1,423	18.5%	1,428	19.1%	+0.3%	1,495	-4.5%
営業利益	483	6.3%	351	4.7%	-27.5%	464	-24.4%
経常利益	508	6.6%	356	4.8%	-30.0%	466	-23.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	352	4.6%	227	3.0%	-35.6%	332	-31.6%

^{*}単位:百万円

前期比 2.9%の減収、同 30.0%の経常減益予想



同社は、11月13日に20/3期業績の下方修正を行った。新しい会社計画は、前期比2.9%の増収の74億85百万円、同30.0%の経常減益の3億56百万円。自動車用ゴム製品の受注は回復傾向にあるものの、自動車スイッチ用防水カバーやRFIDタグ用ゴム製品の受注回復が当初予測よりも遅れる見込みとなったもの。

売上面は、工業用ゴム事業、医療・衛生用ゴム事業ともに減少する計画。ASA COLOR LED や医療用ゴム製品の回路製品の新製品の受注が増加するものの、RFID タグ用ゴム製品や自動車スイッチ用防水カバーの受注が減少する。

利益面は、売上減少による利益の減少に加え、前期から継続する将来に向けた投資による費用増が影響し各段階利益とも前期比減益の計画。売上総利益率は、前期比1ポイント低下の23.8%、売上高対販管費率は、同0.6ポイント上昇の19.1%の会社前提。この結果、営業利益は、前期比27.5%減益の3億51百万円となる計画。売上高営業利益率は、前期比1.6ポイント低下の4.7%の予想。

一方、1株当たり配当は、19/3期から10円増配の30円の予想(上期末10円、期末20円)を据え置き。期末配当20円には、創立50周年の記念配当10円が含まれている。

(2)セグメント別業績予想

セグメント別売上高

	19/3 期	構成比	20/3 期 予想	構成比	前期比
工業用ゴム事業	6,498	84.3%	6,360	85.9%	-2.1%
医療・衛生用ゴム事業	1,207	15.7%	1,125	15.0%	-6.8%
連結売上高	7,706	100.0%	7,485	100.0%	-2.9%

^{*}単位:百万円

セグメント別売上高(中期事業分野別)

	19/3 期	構成比	20/3 期 予想	構成比	前期比
車載•照明	3,154	40.9%	3,443	46.0%	+9.2%
医療・ライフサイエンス	1,227	15.9%	1,207	16.2%	-1.6%
その他	3,324	43.2%	2,835	37.9%	-14.7%
連結売上高	7,706	100.0%	7,485	100.0%	-2.9%

^{*}単位:百万円

車載・照明セグメントでは、ASA COLOR LED の受注回復に加え、ASA COLOR LENS の自動車エクステリア市場参入が寄与する。医療・ライフサイエンスセグメントでは、回路製品の新製品の量産がスタートする。一方、その他セグメントでは、RFID タグ用ゴム製品や自動車スイッチ用防水カバーの受注が減少する計画となっている。

(3)主要製品の売上計画

(*/ = >< >AHH : * / = 1				
	19/3 実績	20/3 期初計画	20/3 計画 (変更後)	前提·方針
		791 IZI I	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	
ASA COLOR LED	2,917	3,035	3,241	・前期後半のグローバルな市場環境の変化による顧客の在庫 調整が終了。 ・今期第1四半期から受注が回復し、売上増加見通し。
医療用ゴム製品	1,179	1,065	1,180	・採血用・薬液混注用ゴム栓の旧機種は終息。新機種の量産は 計画通りスタート。
				・回路製品の新規ゴム製品の量産がスタート。
卓球ラケット用ラバー	415	416	446	・堅調な需要に支えられ、主力製品を中心に受注増加。
				・新機種の市場投入遅れと現機種の在庫調整により、当初計画
RFID タグ用ゴム製品	898	1,018	632	(1,018 百万円)から大幅下方修正。
				海外市場の競合対策を顧客と連携し実施。

*単位:百万円

20/3 期会社計画の主要製品の売上高は、期初計画に対し ASA COLOR LED、医療用コム製品、卓球ラケット用ラバーにおいて引き上げられたものの、RFID タグ用コム製品において大幅に引き下げられた。



(4)設備投資計画

設備投資計画

	18/3 実績	19/3 実績	20/3 期初会社計画	20/3 上期実績	20/3 変更後会社計画
設備投資	680	948	750	368	675
減価償却費	417	497	580	270	560

変更された今期の設備投資計画 6 億 75 百万円の事業分野別内訳は、車載・照明分野 1 億 82 百万円(上期 1 億 29 百万円)、医療・ライフサイエンス分野 1 億 46 百万円(上期 60 百万円)、その他分野 3 億 47 百万円(上期 1 億 79 百万円)。生産効率を図る改造投資と生産環境整備の投資を継続して実施する計画。

また、法人別では、同社 5 億円 65 百万円、東莞朝日精密橡膠制品 1 億円、朝日 FR 研究所 10 百万円(研究開発) 等が大きなもの。

(5)分野別成長戦略と活動実績

同社の、20/3期の経営方針は、好奇心を高めて深化、進化、新化しよう。

経営戦略は、基礎力を鍛えて質を高めよう(深化)、より優れた価値に高めよう(進化)、新たな道へ挑戦しよう(新化)であり、分野別の成長戦略と活動実績は以下の通りである。

重載。昭明分野

車載・ 照明分野	
開発製品	特徴・用途
	自動車内装照明向け光源として、青色LEDに蛍光体を配合したシリコーン製ゴムキャップをかぶせることで 10,000 色以上の光を実現。
	【深化】一基礎力を高めて質を向上 ●さらに色と光のばらつきを狭小化した調光製品の拡販。 ●新薄型パッケージ製品投入。
ASA COLOR LED	前期導入した設備が稼働し、新薄型パッケージ製品 の拡売に寄与
	【進化】一より優れた価値に高める ●IATF16949(自動車産業の国際的な品質マネジメント規格)の認証取得活動。 2020 年 2 月 東莞朝日精密橡膠制品有限公司予定
	2020年2月 保光朝日福田保藤前田福成公司アと 2020年12年 白河工場取得を目指す
	【新化】一新たな道への挑戦
	●光と色の新たな価値提案に向けて埼玉大学との共同研究。
	「疲れにくい光」を軸に開発継続
	照明器具の反射板に塗布することで光反射取り出し効率を高め、耐熱性、耐 UV 性に優れたシリコーン製インキ。
	【深化】一基礎力を高めて質を向上
	●バックライト市場の省エネ、長寿命化に貢献。
	【進化】一より優れた価値に高める
白色シリコーンインキ	●JIS 規格(JIS Z 8922 照明器具用白色シリコーンインキ塗膜)取得を生かした差別化製品を開発。
	製品ラインアップを拡充
	★ 基板種類対応・・・硬質のリジッド基板、フレキシブル基板、リフレクター反射
	層、セラミックス基板
	✓ 鋼板、フィルムに塗布した製品を開発品として市場展開
	✓ WEB 販売ツールによるアプローチ開始
ASA COLOR LENS	耐熱性、耐 UV 性に優れた光透過率 94%の集光・拡散機能を持つシリコーン製レ ンズ。



【深化】一基礎力を高めて質を向上 ●素材力、光学設計技術力を高め、機能性樹脂製品とのさらなる差別化を狙う。 活動継続 【進化】ーより優れた価値に高める ●自動車エクステリア市場への新規参入。 自動車エクステリア向けの透明シリコーンレンズに採用され、白河工場で量産活動開始。市場反応を踏まえ、さらに製品力をアップ。

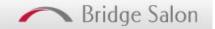
医療・ライフサイエンス分野

医療・フィフサイエンス分野	杜姗 . 田冷
開発製品	特徴・用途
プレフィルドシリンジガスケット	あらかじめ薬剤が充填された注射器に使用されるガスケット。 【深化】一基礎力を高めて質を向上 ●グローバル規格に準拠した豊富な量産実績で受注拡大へ。 財格値を大幅に下回る低溶出素材開発 > 生産能力増強で受注拡大 增産準備開始 【進化】一より優れた価値に高める ●独自の表面改質技術で低摺動のコーティングを開発中。 活動総続
	/13
超薄膜シリコーンシート	【深化】一基礎力を高めて質を向上 ●他に類を見ない超薄膜成形技術を生かし、細胞培養や医療、分析機器用途へ標準品を展開。 ▶ 無溶剤で最薄 15 μmの成形を実現 ▶ 透明度が高く、顕微鏡による観察に最適 活動継続
	輸液システムで薬液を混注するゴム製品。
採血用・薬液混注用ゴム製品	【深化】一基礎力を高めて質を向上 ●輸液回路、血液回路に対応するメディカル素材や加工素材を開発。 活動継続 【進化】ーより優れた価値に高める ●採血用・薬液混注用ゴム製品の一部を白河第二工場に移管し、増産に向けた準備を開始。 次期立上げを目指して工場環境の整備を継続 【新化】ー新たな道への挑戦 ●同社独自開発の医療回路製品を市場投入。 新規医療回路製品用ゴム部品の量産を開始

その他分野

ゴムの基礎技術を高めて機構部品を創造する。

開発製品	特徴・用途
卓球ラケット用ラバー	球を高速で弾く反発弾性、強烈なスピンをかける高摩擦抵抗などを追及した高性能、高品質の製品。



	【進化】一より優れた価値に高める ● 顧客と連携し、さらに機能を追求した・転割した問発
	●顧客と連携し、さらに機能を追求した新製品を開発。 <mark>活動継続</mark>
	情報の読み書きを保存する IC チップとアンテナ部をゴムで覆い、折り曲げに強
	く、耐水性、耐熱性に優れた柔らかい小型のタグ製品。
RFID タグ用ゴム製品	【進化】一より優れた価値に高める
	●顧客と連携し、市場ニーズを満足する品質・機能を追求した次世代製品を市場
	投入。 活動継続
	静電容量の変化により荷重を測定するセンサ。
	【深化】一基礎力を高めて質を向上
 感圧ラバーセンサ	●IoT やロボットなどのインターフェースとして開発・提案。 活動継続
念圧が、ピング	【新化】一新たな道への挑戦
	●即時評価を手助けする動作検証用の感圧ラバーセンサ用ドライブキットの 販売開始。
	ドライブキットの WEB 販売で顧客二一ズ収集
	電流極性の切替により冷却・加熱が可能な電子部品「ペルチェデバイス」を応用
F-TEM	し、従来にないゴムならではの柔軟性のある熱伝導シートと組み合わせた製品。
(Flexible Thermos Electrical Module)	【新化】一新たな道への挑戦
iviodule)	●サンプル出荷によるエビデンス取得活動を通じて市場参入目指す。
	ドライブキットの WEB 販売で顧客ニーズ収集

5. 今後の注目点

20/3 期第2四半期決算は、前年同期比で6.2%減収、同55.1%営業減益の厳しい内容となり、同社は通期業績予想の下方修正を行った。RFID タグ用ゴム製品と自動車スイッチ用防水カバーの受注回復が当初予測よりも遅れる見込みとなったこことを反映したものである。こうした中、明るい兆しも見え始めている。主力の ASA COLOR LED の受注が回復基調になってきたことに加え、採血用・薬液混注用ゴム栓において新製品への入替が進み、新たに投入した製品の受注が好調に推移していることなどである。現在同社は、RFID タグ用ゴム製品の販売拡大に向け、顧客と連携し海外市場の競合対策を検討している。ASA COLOR LED や採血用・薬液混注用ゴム栓などの主力製品の受注が回復傾向となる中、上期の苦戦の原因となった RFID タグ用ゴム製品の受注が魅力的な新製品の投入によりいつ頃から回復感を強めてくるのか注目される。

また、同社は今期積極的に新製品の投入を予定している。中でも、自動車エクステリア市場へ新規参入する ASA COLOR LENS と同社独自開発の医療回路製品用ゴムは既に量産がスタートした。今期量産がスタートしたこれら新製品の販売状況や採用状況にも期待を込めて注目していきたい。

<参考:コーポレートガバナンスについて>

◎組織形態、取締役、監査役の構成

組織形態	監査等委員会設置会社
取締役	8 名、うち社外 2 名



◎コーポレートガバナンス報告書

最終更新日:2018年6月29日

「当社は、JASDAQ 上場企業としてコーポレートガバナンス・コードの基本原則をすべて実施しております。」と記載している。

<コーポレートガバナンス・コードの各原則に基づいて開示している主な原則>

1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	4) 4 - 4 - 4 - 4 - 4 - 4 - 4 - 4 - 4
原則	開示内容
【株主以外のステークホルダーとの適切な恊働】	年二回行っている社内での方針説明会、また毎月全社員を対
	象に行っている月例報告会で、健全な事業活動倫理を尊重す
	る精神について、様々な角度と表現で伝えています。また、地
	域の経済同友会などに加盟し、他企業と交流を深めることで
	情報収集を行い、社内に展開しております。
	特に重視しているのは社内のオープンなコミュニケーションで
	す。いろいろな意見を出せる環境、聞く環境を整えていくこと
	で、ステークホルダーを尊重する企業風土を醸成していけると
	考えております。
【株主との対話】	当社 WEB サイトで中期経営計画をわかりやすく公開していま
	す。また、個人投資家向けのページでは、会社の目指す方向
	やトップメッセージなどを紹介しています。決算説明会は今期
	の重点施策について社長が直接説明し、当日の状況は WEB
	サイトにて動画配信しております。

本レポートは情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を意図するものではありません。また、本レポートに記載されている情報及び見解は当社が公表されたデータに基づいて作成したものです。本レポートに掲載された情報は、当社が信頼できると判断した情報源から入手したものですが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありません。当該情報や見解の正確性、完全性もしくは妥当性についても保証するものではなく、また責任を負うものではありません。本レポートに関する一切の権利は(株)インベストメントブリッジにあり、本レポートの内容等につきましては今後予告無く変更される場合があります。投資にあたっての決定は、ご自身の判断でなされますようお願い申しあげます。